平成１９年７月１７日

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成１９年度病害虫発生予察防除情報第７号

普通期水稲　コブノメイガ、トビイロウンカの防除対策について

６月５半旬以降、コブノメイガ、トビイロウンカの飛来が断続的に認められています。これまでの飛来・発生状況は下記のとおりですので圃場での発生に注意して防除の徹底をお願いします。

記

１．飛来・発生状況

（１）コブノメイガ

ア　６月５半旬以降、断続的に飛来が認められ、７月４～５日には多飛来があった（表１）。

イ　７月１～３半旬の巡回調査（普通期、１１４筆）の結果、食害株率は０．１％（平年２．９％）、１０㎡当たりの成虫数は２．２頭（平年　０．１頭）であった。

ウ　７月１３日の県予察圃場（普通期、無防除、諫早市）調査の結果、食害株率は９２．０％で、虫齢は若齢幼虫が主体であった。

（２）トビイロウンカ

ア　６月５半旬以降断続的に飛来があり、７月３～６日にかけてやや多い飛来が認められた（表２）。

イ　７月１～３半旬の巡回調査（普通期、１１４筆）の結果、株当たり虫数は０．０１頭（平年０．００頭）、発生圃場率１１．４％（平年　２．３％）ですべて成虫であった。株当たり成虫数が０．１～０．３頭と多い圃場も認められた。

ウ　７月７日の県予察圃場（普通期、無防除、諫早市）調査の結果、株当たり成虫数は０．２頭であった。

２．防除対策

（１）コブノメイガ

ア　薬剤散布は、粉剤・液剤では成虫発生最盛期の７～１０日後、粒剤では成虫発生最盛期に行う。なお、粒剤は効果を安定させせるため散布後７日間止水する。

イ　各飛来波の今後の生育予測は図のとおりであるが、地域や圃場により発生状況が異なることがあるので圃場の見回りを徹底し、それぞれの圃場における発生状況を把握した上で防除を行う。

（２）トビイロウンカ

ア　今後の圃場での発生状況に注意し、７月下旬～８月上旬にかけて１００株当たり２０頭以上の成虫の寄生が認められる場合は、それらの次世代幼虫期に防除を行う。

イ　株元に多く寄生するので薬剤散布にあたっては株元に薬剤が十分付着するよう丁寧に散布

する。
ウ　圃場間や同一圃場内でも偏って発生していることが多いので、できるだけ圃場の見回りを徹底する。また、各飛来波の今後の発生予測は図のとおりであるが、地域や圃場により発生状況が異なることがあるので、それぞれの圃場における発生状況を把握した上で防除を行う。

（３）薬剤散布にあたっては圃場周辺に薬剤が飛散しないよう十分注意する。

表１　コブノメイガの誘殺状況

月日	蛍光灯採集箱(頭)	追い出し成虫数(頭/10㎡)	フェロモントラップ(頭)					
			諫早市小船越	諫早市小野	長崎市琴海戸根	佐世保市八の久保	五島市籠淵	対馬市上県
6.21	0	0	0				1	0
22	0	0	0				0	
23	0	0	0		0		0	
24	0	0	3			0	0	
25	0	0.1	0				0	
26	0	0.6	5				0	0
27	0	0.4	0				0	
28	0	0.1	0		1		0	
29	0	0.1	0	0			0	
30	0	0.1	10				1	
7. 1	0	1.1	4		6		5	8
2	0	1.4	1			15	5	
3	1	1.2	4				7	
4	3	1.2	5	1		23	6	4
5	19	11.3	31	2	227		2	
6	14	18.2	18				5	
7	16	12.9	28	5			2	
8	15	20.1	12	2	153	49	2	10
9	7	16.2	9	1			1	
10	7	13.3	8	0		17		
11	4	15.7	13					8
12	8	15.0	8	0				
13	-	12.8	-					
合計（平年値）	82 (5.8)							

注1）蛍光灯採集箱（１５ｗ白色蛍光灯）は諫早市小船越に設置
注2）追い出し成虫数は県予察圃場（早期、無防除、諫早市小船越）の100㎡調査における成虫数を10㎡当たりに換算
注3）フェロモントラップの諫早市小野、長崎市琴海戸根、佐世保市八の久保、対馬市上県は数日間まとめて調査した数値を示す
注4）合計は６月～７月２半旬の総数、平年値はＨ９～１８年の最大・小値を除いた平均値
注5）フェロモントラップはＨ１８以降の調査開始なので平年値無し
注6）７月９日以降の空欄日は今後集計予定、－は欠測

表２　トビイロウンカの誘殺状況

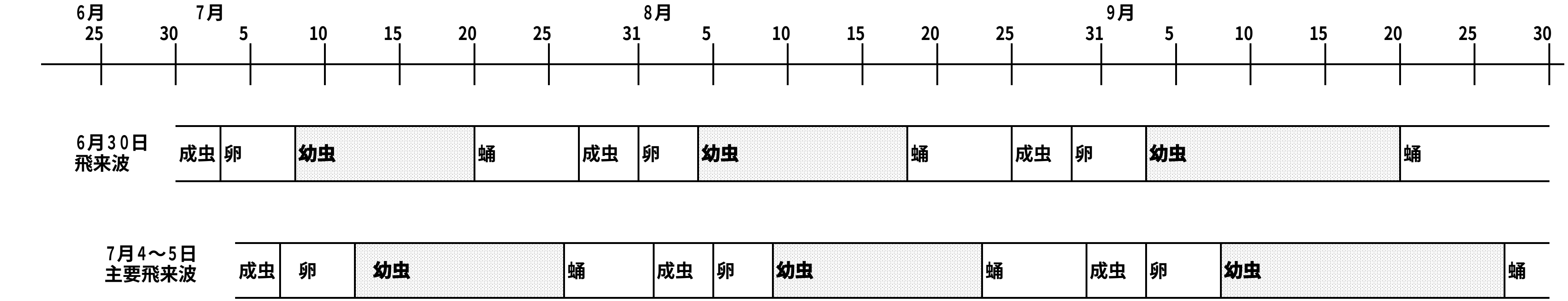
月日	諫早		島原	佐世保	岐宿
	予察灯	ﾈｯﾄﾄﾗｯﾌﾟ	予察灯	予察灯	予察灯
6.21	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0
23	0	0	0	0	0
24	4	0	0	3	3
25	0	0	3	0	0
26	0	0	0	0	0
27	0	0	0	1	0
28	0	0	0	0	0
29	0	0	0	0	0
30	3	0	0	0	0
7．1	0	0	0	0	0
2	4	0	2	0	0
3	2	0	3	8	0
4	8	1	6	8	8
5	7	0	7	3	0
6	8	0		1	0
7	0	0		2	0
8	0	0		0	0
9	0	0		5	
10	3	0		-	
11	0	0			
12	0	0			
合計 (平年値)	39 (12.4)	1 (0.3)	21 (3.6)	31 (20.4)	11 (5.9)

注1）予察灯：６０ｗ白熱灯
注2）７月６日以降の空欄日は今後集計予定、－は欠測
注3）合計値及び平年値は諫早及び佐世保が６月～７月２半旬、
　　島原、岐宿が６月～７月１半旬までの誘殺数の合計
注4）平年値はＨ９～１８年の最大・小値を除いた平均値

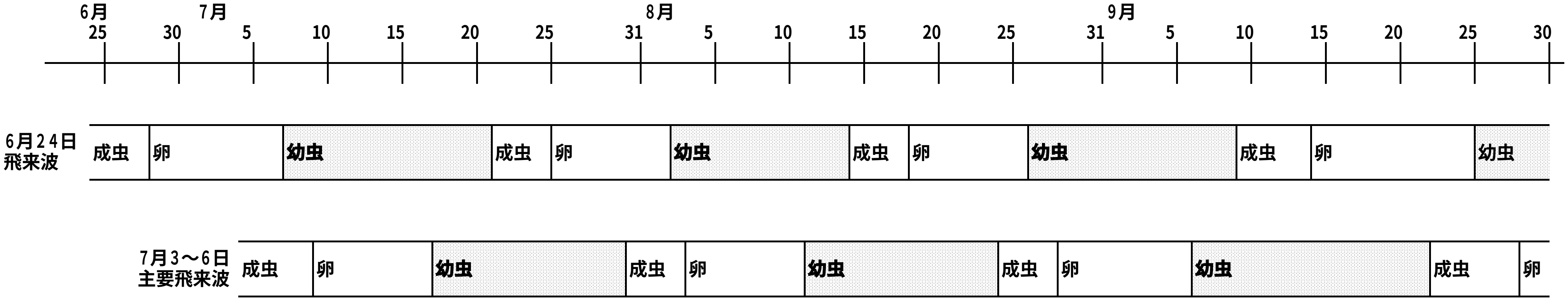
○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
　「防除所ホームページ」　アドレス：http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/
○「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム（一部会員制、アドレス:http://www.n-nourin.jp/)やその他の情報を閲覧することができます。
○この情報に関するお問い合わせは、電話またはＥメールでお願いします。
長崎県病害虫防除所　ＴＥＬ：0957-26-0027,　Ｅメール：kngs0301@sp.jppn.ne.jp

（図）　　コブノメイガ、トビイロウンカの発生予測図（平成１９年）

１．コブノメイガ



２．トビイロウンカ



※　発生予測の気温は西諫早（総合農林試験場）のデータを用いた（7月10日まで本年実測値、7月11日以降は平年値）